



スマイルだより 11月号

令和2年 11月1日
病児・病後児保育所スマイル
0551-23-4507

モミジやイチョウの葉っぱが色づきはじめ、秋の深まりを感じる季節になりました。10月18日には、蕪崎市の西に広がる南アルプスの山々も初冠雪しました。例年より9日も早い観測でした。急に冷たい風が吹いたり、また小春日和があったりと秋の天気は忙しいですね。気温差も大変大きいこの時期です。手洗いうがいをしっかりとしながら感染症予防に努めて行きましょう。

「ほめる」と「しかる」のおはなし・・・病児保育の現場から

病児保育の現場は、究極の託児とよく言われています。年に一回しかお会いしないお子さんもたくさんいらっしゃいます。お子さんとも保護者様とも信頼関係の築きが難しい中で、「ほめる」「しかる」について日々スタッフみんなで考えています。

「ほめる」担当の保育士や看護師は、子供の成長や良い所を認め喜びあうことを大切にしています。

ほめられたお子さんは、自分を認めてくれている、愛されていると実感して、どんな行動が喜ばれるかを学びます。そして自己肯定感が育まれます。

大切にしていること *ほめそやす事に一利なしと言われています。「すごいね」「やったね」などどんな行為にも使える言葉を減らして出来た行為に対して、感謝と共感を持つよう努めています。

*結果だけでなく、プロセスを重視してほめています。

*競争ではありませんので、頑張れたことや、その子らしさをみつめています。

「しかる」なぜそれをしてはいけないのかを分かるように伝える事で、怒りの感情をぶつけること（怒る）ではありません。子供の気持ちに寄り添いつつ、いけない行動をたしなめます。

大切にしていること *人格を否定せず、行為をたしなめています。

*表情・口調で「いけない」を伝えるようにしています。

*なぜいけないかを具体的に伝えています。

◎病児のお預かりについて気になる事がございましたら、ご遠慮なくお知らせください。

スマイルからのお願い

お弁当やおやつについて

ブドウやミニトマトなどつるんとして丸い物、グミやこんにゃくのゼリーなど喉に詰まりやすい物等は小さくカットしましょう。

先日、ブドウを詰まらせて5歳のお子さんが亡くなった事故が大きく報道されました。5歳でもと驚かれた方も多かった事と思います。事故は思いがけず起こる物で、体調不良の時にはリスクはさらに大きくなります。お弁当やおやつについては小さめにカットしてご持参下さい。



インフルエンザ予防接種を受けましょう

インフルエンザの初期症状と風邪症状は大変見分けが付きにくいものです。スマイルでは、病名ごとに部屋割りをしているのでインフルエンザと確定の診断がつかずに他のお子さんと同室になってしまった例もありました。インフルエンザの感染を防ぐためにも、また今年はコロナウイルス感染との区別を図るためにも、ぜひインフルエンザの予防接種を受けて、重症化を防いでいきましょう。

